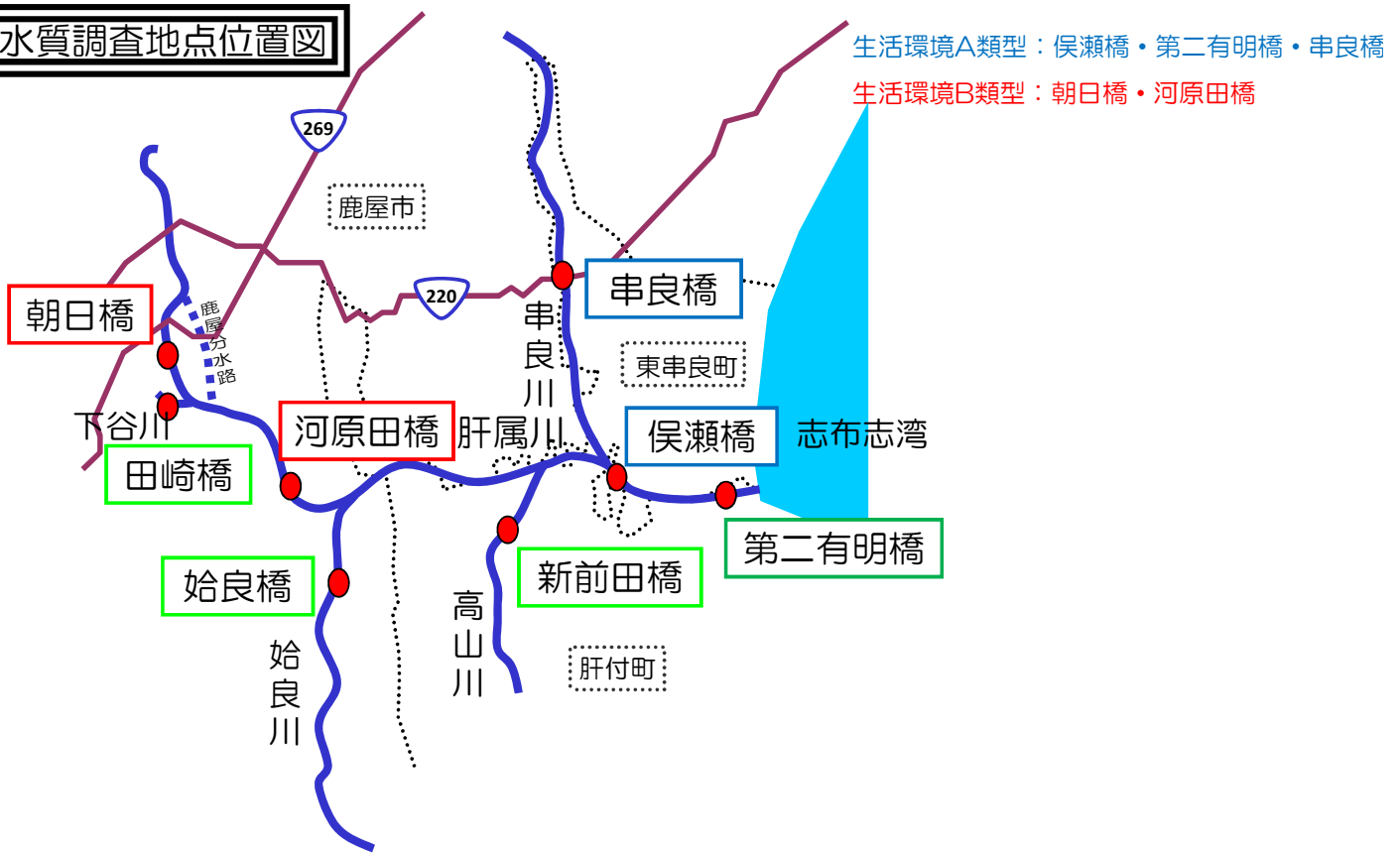


# 平成29年6月～平成30年5月の肝属川水系の水質速報

## 水質調査地点位置図



## ※用語の説明

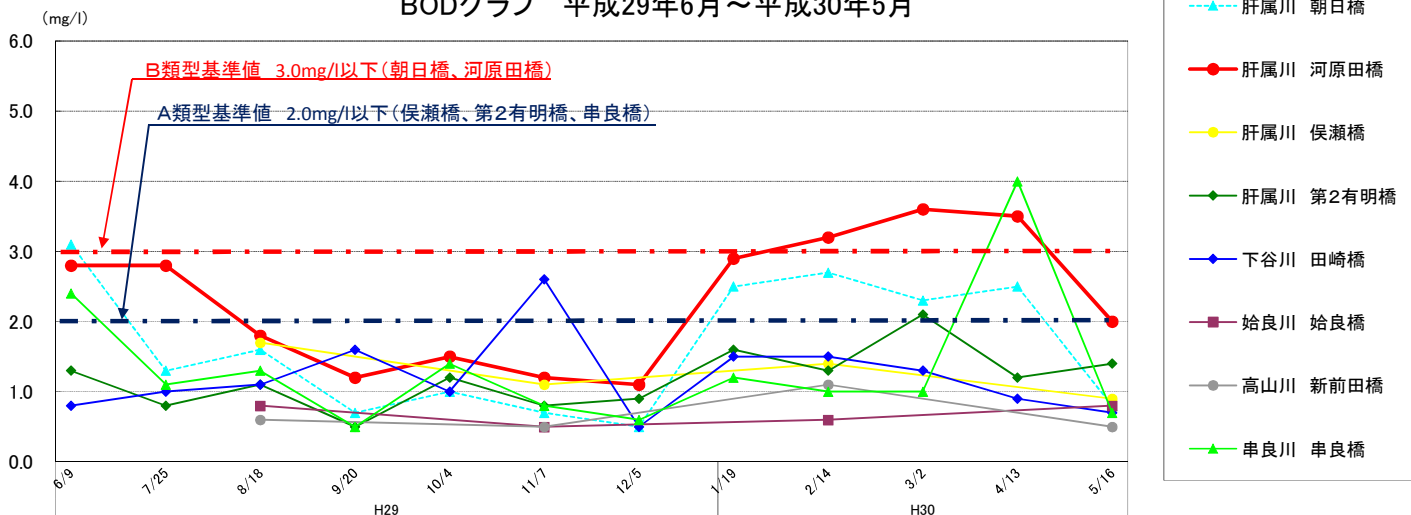
### BOD（生物化学的酸素要求量）とは

川の汚れの程度を測る代表的な尺度です。水中の汚れ（有機物）は、微生物により分解されますが、その時に消費する酸素の量をBODと言います。BODの値が低いほど水質が良好で、高くなれば水が汚れていることを表します。

### ※BODの目安

- 1 mg/L以下：人為的汚染のない川
- 2 mg/L以下：泳げる。サカナ、イワナの生息
- 3 mg/L以下：アリの生息
- 5 mg/L以下：カマキリ、フナ等の生息
- 5 mg/L以上：ヒメジ、マイヅル等の生息

BODグラフ 平成29年6月～平成30年5月

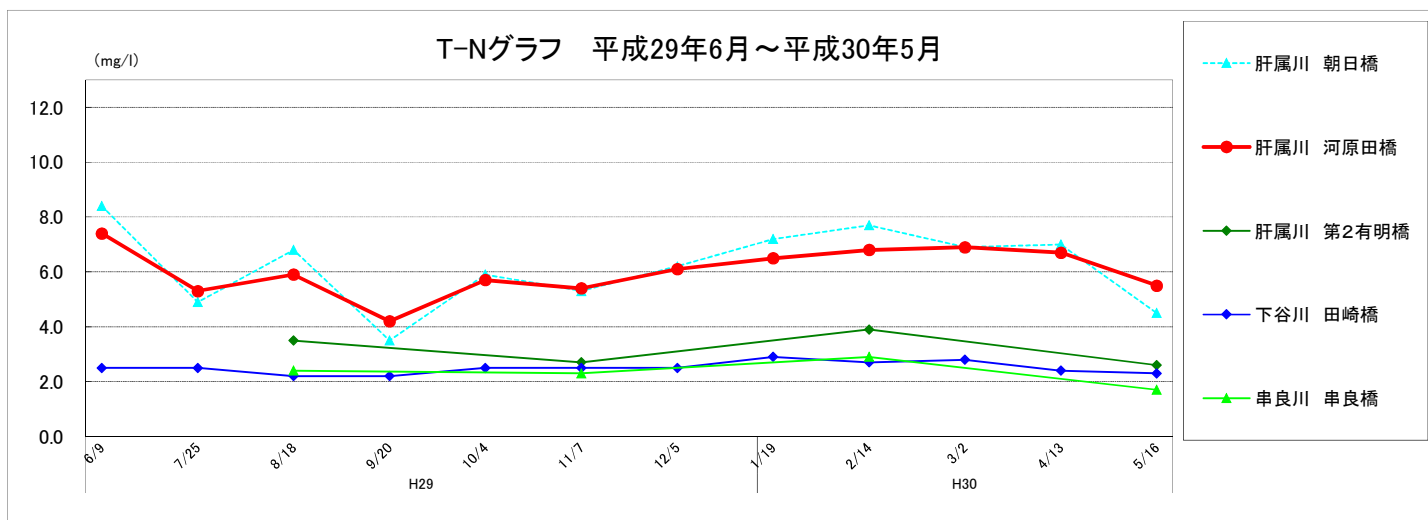


## BOD測定結果

	H29							H30				
	6/9	7/25	8/18	9/20	10/4	11/7	12/5	1/19	2/14	3/2	4/13	5/16
肝属川 朝日橋	3.1	1.3	1.6	0.7	1.0	0.7	0.5	2.5	2.7	2.3	2.5	0.8
肝属川 河原田橋	2.8	2.8	1.8	1.2	1.5	1.2	1.1	2.9	3.2	3.6	3.5	2.0
肝属川 俣瀬橋			1.7			1.1			1.4			0.9
肝属川 第2有明橋	1.3	0.8	1.1	0.5	1.2	0.8	0.9	1.6	1.3	2.1	1.2	1.4
下谷川 田崎橋	0.8	1.0	1.1	1.6	1.0	2.6	0.5	1.5	1.5	1.3	0.9	0.7
始良川 始良橋			0.8			0.5			0.6			0.8
高山川 新前田橋			0.6			0.5			1.1			0.5
串良川 串良橋	2.4	1.1	1.3	0.5	1.4	0.8	0.6	1.2	1.0	1.0	4.0	0.7

## T-N(総窒素)

T-N(総窒素)は、し尿や家庭下水中の有機物の分解や工場排水に起因する水質汚染の有力な指標となる各形態の窒素をあわせたものです。富栄養化の指標としては、このT-N(総窒素)がもっともよく使われます。生活環境の保全に関する環境基準においては、河川水のT-N環境基準は定められていません。しかし河川よりも閉鎖的な湖沼においては、環境保全のためには総窒素は1mg/l以下でなければならないとされています。この点を考えると、特に肝属川上流部のT-Nは高濃度であり、更なる改善努力が必要と言えます。



## T-N(総窒素)測定結果

	H29							H30				
	6/9	7/25	8/18	9/20	10/4	11/7	12/5	1/19	2/14	3/2	4/13	5/16
肝属川 朝日橋	8.4	4.9	6.8	3.5	5.9	5.3	6.2	7.2	7.7	6.9	7.0	4.5
肝属川 河原田橋	7.4	5.3	5.9	4.2	5.7	5.4	6.1	6.5	6.8	6.9	6.7	5.5
肝属川 第2有明橋			3.5			2.7			3.9			2.6
下谷川 田崎橋	2.5	2.5	2.2	2.2	2.5	2.5	2.5	2.9	2.7	2.8	2.4	2.3
串良川 串良橋			2.4			2.3			2.9			1.7